

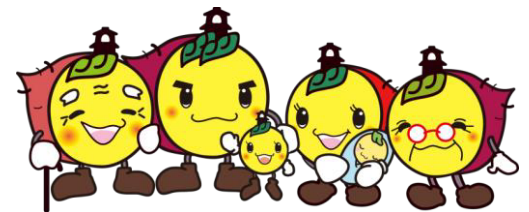
# 川越市

## 平成30年度決算のポイント



川越市シンボルマーク

令和元年8月





# 1 決算の規模

## 【歳入】

一般会計

**1,127億4,971万8千円**

(対前年度比 20億3,951万3千円減)

## 【歳出】

一般会計

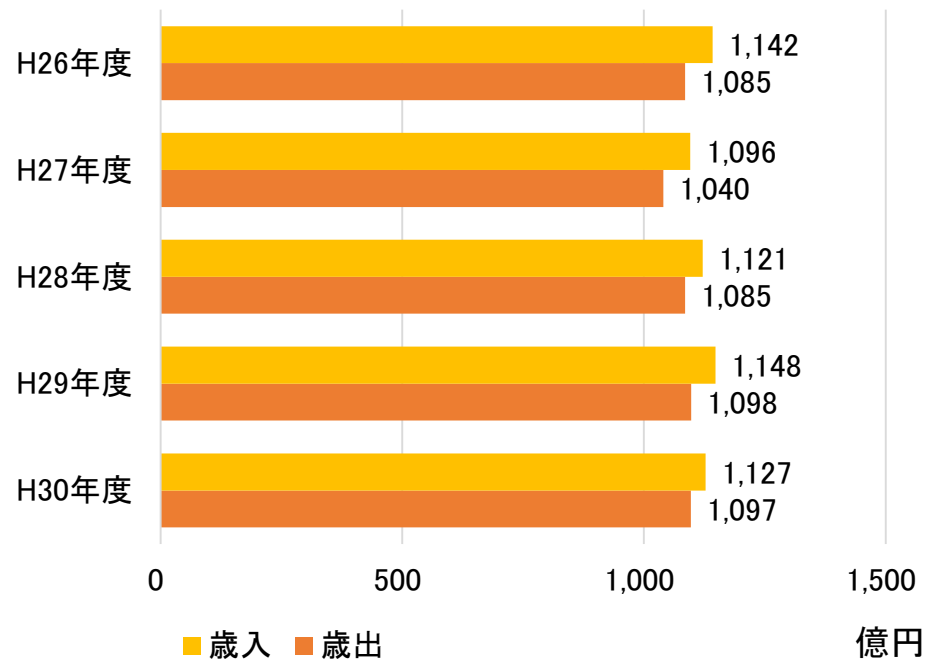
**1,096億8,209万5千円**

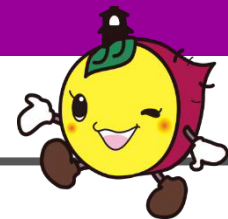
(対前年度比 8,541万3千円減)

※歳入歳出総額は千円単位とし、単位未満は切り捨てています。

- 対前年度比で歳入は約20億4千万円、歳出では約9千万円減少しました。
- 歳入は、投資的経費の減に伴う市債等の減少により、歳入全体として対前年度比で1.8%減少しました。
- 歳出は、繰出金が増加したものの、投資的経費が減少した結果、歳出全体として対前年度比で0.1%減少しました。

歳入歳出総額の推移(一般会計)





## 2 決算の収支

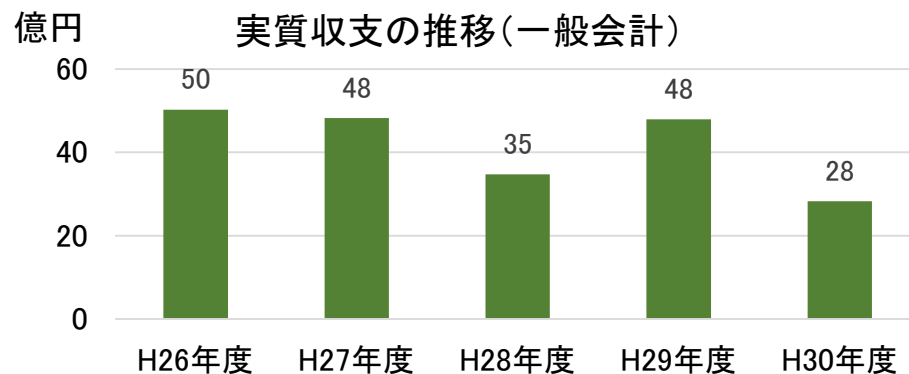
### 一般会計決算収支の状況

単位：千円

年度	歳入総額 ①	歳出総額 ②	形式収支 ①－②＝③	翌年度へ繰り越すべき財源 ④	実質収支 ③－④＝⑤
29	114,789,231	109,767,508	5,021,722	226,866	4,794,855
30	112,749,718	109,682,095	3,067,623	240,284	2,827,338
比較	△ 2,039,513	△ 85,413	△ 1,954,099	13,418	△ 1,967,517

※表中の金額は千円未満切り捨てのため、差引額が一致しない場合があります。

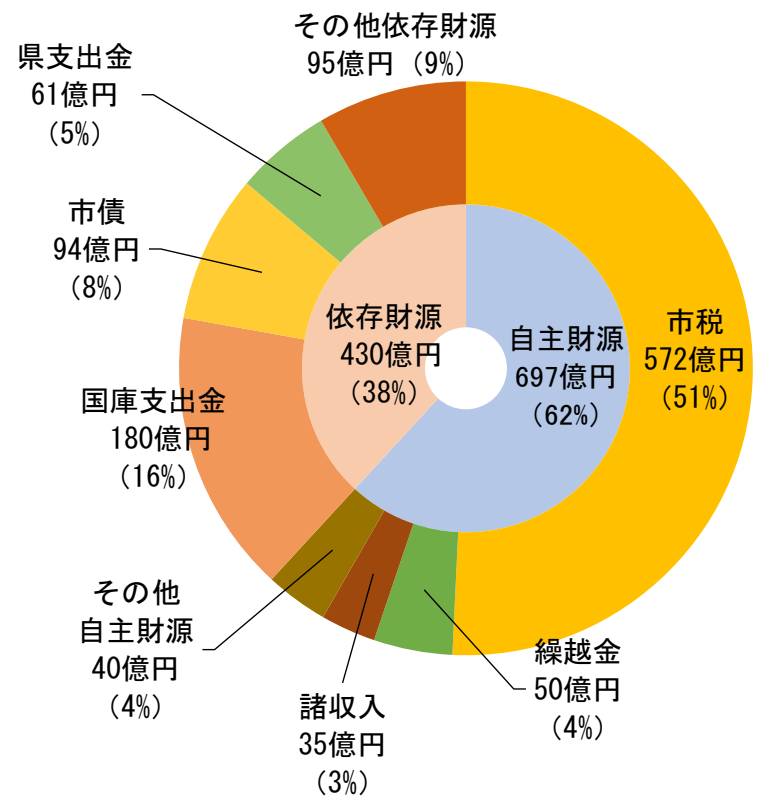
- 歳入総額から歳出総額を差し引き、さらに翌年度へ繰り越すべき財源を除いた実質収支は、28億2,733万8千円になりました。
- 平成29年度と比較すると実質収支は19億6,751万7千円の減少です。





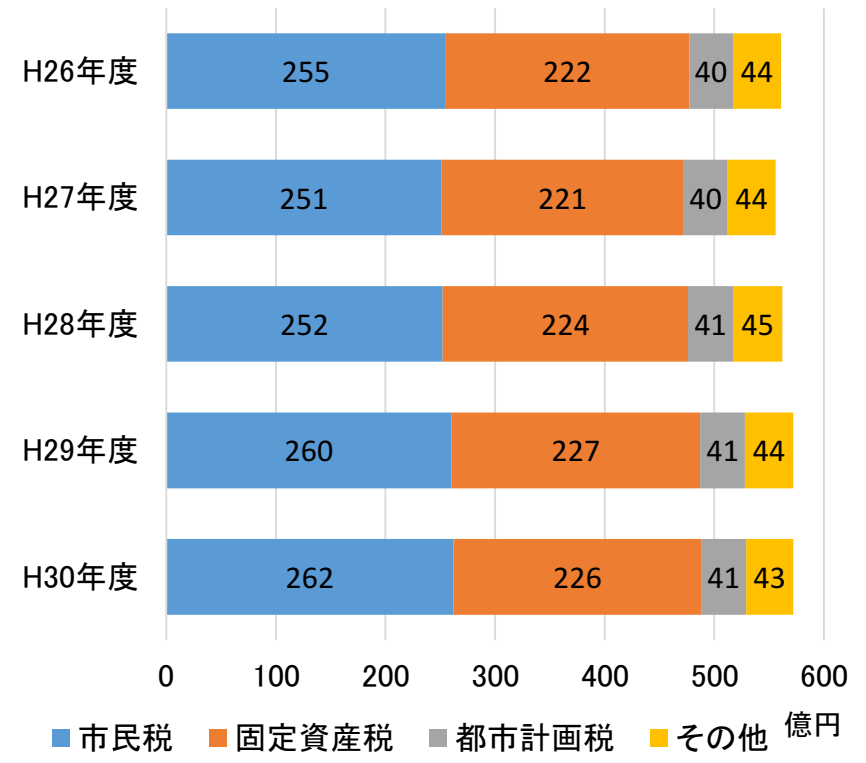
# 3 一般会計歳入の内訳

## 歳入



- 市税収入が全体の51%を占めるとともに、自主財源の比率は、引き続き60%台で推移しています。

## 市税収入の推移

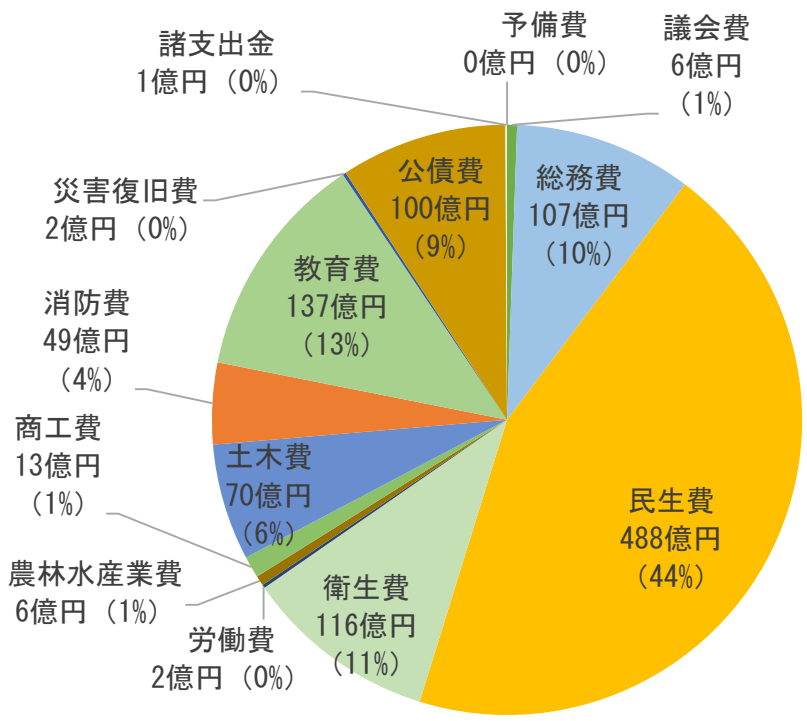


- 平成30年度は、固定資産税等が減となったものの、市民税等の増により、市税収入全体では、対前年度とほぼ同額となりました。



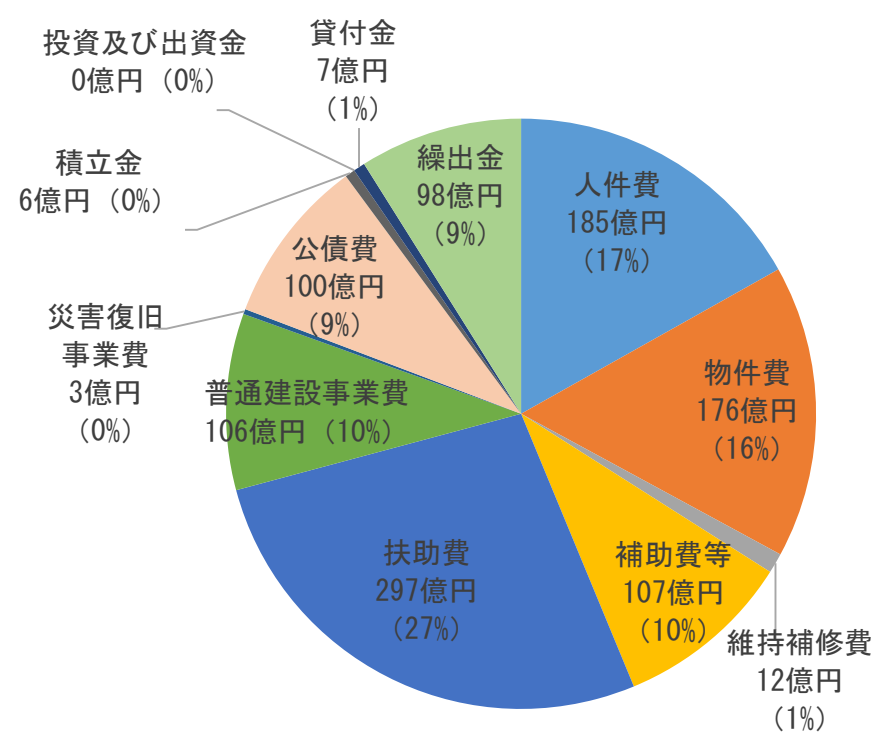
# 4 一般会計歳出の内訳

## 歳出（目的別）

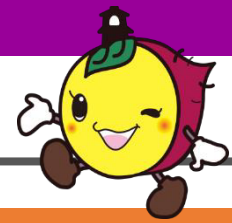


- 全体の4割以上を占める民生費は、対前年度比で約30億円の増となりました。
- 衛生費は、西清掃センター解体工事等により対前年度比で約6億円の増となりました。

## 歳出（性質別）



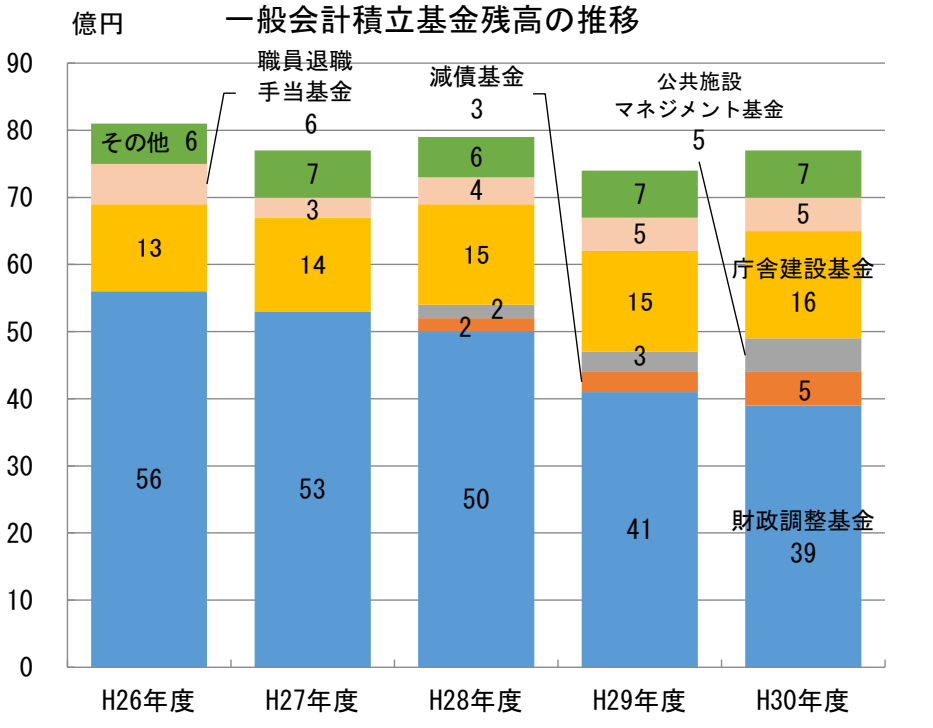
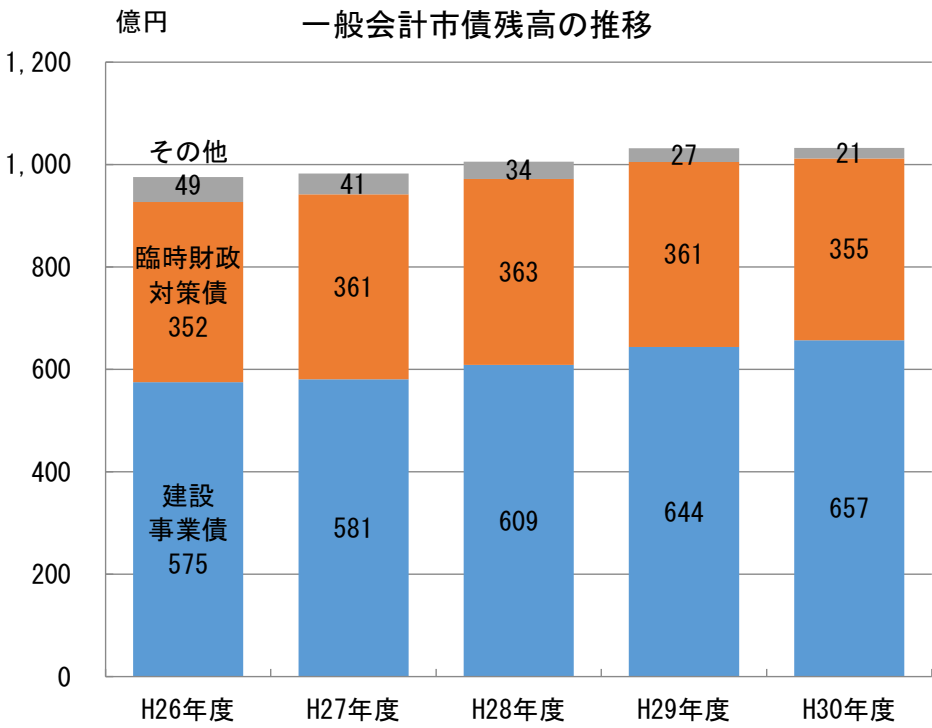
- 扶助費が全体の1/4を占めています。
- 繰出金が対前年度比で約21億円の増となったものの、普通建設事業費は対前年度比で約31億円の減となりました。



# 5 市債残高及び積立基金の状況

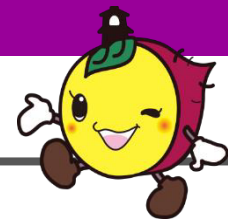
## 市債残高の状況

## 積立基金の状況



※その他・・・減収補てん債及び減税補てん債

- 市債残高は、前年度末より約1億円増加しました。
- 建設事業債は、新学校給食センター施設整備の実施等に伴い、増加傾向で推移しています。
- 平成30年度末の一般会計積立基金残高は、前年度末より約3億円増加しました。



# 6-1 主な事業の成果【子ども・子育て、福祉・保健・医療】

- 子ども・子育て分野では、安心して妊娠、出産、子育てができる環境づくりに向けた施策を推進しました。
- 福祉・保健・医療の分野では、住み慣れた地域で、一人ひとりが健康でいきいきと安心して暮らせるまちづくりを推進しました。

## 障害児通園施設(児童発達支援センター)建設

狭あい化、老朽化したあけぼの児童園及びひかり児童園の2園を統合し、新たに児童発達支援センターとして整備しました。

決算額: 771, 122千円



(平成30年度担当部署: 保育課)  
(令和元年度担当部署: 療育支援課)

## 保育所等建設補助

社会福祉法人等が行う保育所等の新設や増改築に対して補助金を交付しました。平成30年度分の入所定員数は383人増加しました。

決算額: 691, 210千円



(平成30年度担当部署: 保育課)  
(令和元年度担当部署: こども政策課)

## 胃がん個別検診

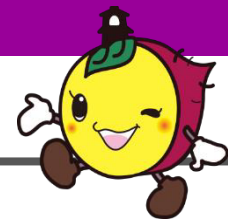
胃がんの早期発見やがん検診の受診率向上を目指し、委託医療機関において胃がん検診を実施しました。

決算額: 100, 069千円



(担当部署: 健康管理課)





## 6-2 主な事業の成果【教育・文化・スポーツ】

- 教育・文化・スポーツ分野では、快適な教育環境の整備や社会状況の変化に対応した学習環境の充実などを推進しました。
- 市民にとって身近な場で多様な市民活動が行えるよう、生涯学習活動の推進を図りました。

### オールマイティーチャーター配置事業

各学校の課題に応じて、小中学校に臨時講師を派遣しました。平成30年度は小学校3校に3名、中学校13校に13名を配置しました。

決算額: 48,150千円



(担当部署: 学校管理課)

### 小・中学校普通教室空調設備整備

平成30年度は小学校15校(追加工事1校含む)、中学校22校の普通教室に空調設備を設置しました。これにより、翌年度繰越分を除き、すべての小・中学校の普通教室に設置が完了しました。

決算額: 2,023,653千円



(担当部署: 教育財務課)

### 仮称霞ヶ関西公民館建設

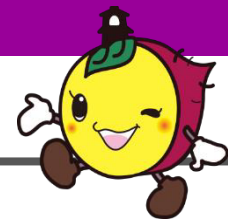
平成29年度から笠幡地区において公民館建設を推進してきました。平成30年度をもって整備が完了し、霞ヶ関西公民館として平成31年4月に開館しました。

決算額: 387,248千円



(担当部署: 地域教育支援課)





## 6-3 主な事業の成果【都市基盤・生活基盤】

- 都市基盤・生活基盤分野では、駅施設の改善や総合的な水害対策などを推進しました。
- 市民ニーズに応じた公共交通網などの充実を図りました。

### 水害対策関連事業

排水ポンプ車の導入や水害ハザードマップの全戸配布を行うとともに、平成29年度の台風第21号による浸水被害等が発生した寺尾地区、芳野地区、下小坂地区などにおいて総合的な水害対策に取り組みました。

決算額：208,259千円



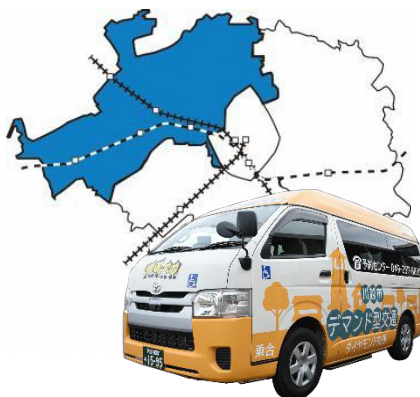
導入した排水ポンプ車

(担当部署：道路環境整備課、河川課)

### 新たな交通事業

交通空白地域における市民の移動を支援し、地域の利便性を向上させるため、デマンド型交通の運行を平成31年2月18日から地区3(霞ヶ関、霞ヶ関北、川鶴、名細、山田、本庁の一部)において開始しました。

決算額：12,020千円



(担当部署：交通政策課)

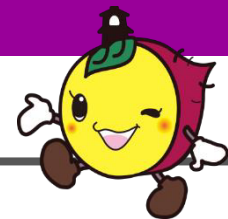
### 笠幡駅前周辺整備

東京2020オリンピックのゴルフ競技会場の最寄り駅である笠幡駅について、駅利用者の利便性及び安全性の向上を確保するため駅前広場の整備を行いました。

決算額：379,786千円



(担当部署：都市整備課)



## 6-4 主な事業の成果【産業・観光】

- 産業・観光分野では、地域経済の活性化に向けた取組や観光客の受入環境の整備に係る施策などを推進しました。
- 川越の農業振興と産業全体の活性化に向けた取組を進めました。

### みんなで支える観光基金活用事業

みんなで支える観光基金を活用し、公衆無線LAN設備の構築、観光英語ボランティアガイド養成講座及び観光振興セミナーなどを実施しました。

なお、公衆無線LAN設備については、新たに喜多院に設置しました。

(担当部署：観光課)

決算額：4,050千円



### リノベーションによる空き店舗等再生事業

商店街の空き店舗など遊休不動産を活用する担い手を育成し、地域経済の活性化を図りました。平成30年度は霞ヶ関北エリアにおいて、講演会やまちづくりキャンプ(実践型ワークショップ)などを実施しました。

(担当部署：産業振興課)

決算額：9,496千円



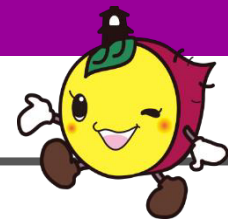
### 川越産農産物ブランド化

市が支援する川越産農産物ブランド化連絡会において、川越産農産物の認知向上と販売促進等を目的として、川越産農産物ロゴマークを作成しました。

(担当部署：農政課)

決算額：4,942千円





# 6-5 主な事業の成果【その他】

- その他の分野では、東京2020オリンピックに向けて、大会機運の醸成や円滑な運営に係る取組などを推進しました。
- 令和4年の市制施行100周年に向けて、機運の醸成などの取組を行いました。

## 大会機運醸成事業

決算額: 16,292千円

大会の開催に向けた機運を高めるとともに、大会を契機とした市の活性化につなげるため、オリンピックコンサートの開催や、大会エンブレムバナーフラッグの設置等に取り組みました。



(担当部署: オリンピック大会室)

## 市制施行100周年記念事業基金

決算額: 31,055千円

市制施行100周年記念事業の実施に向けて、機運の醸成や計画的な資金の準備などを目的として基金を設置し、市で資金を積み立てる他、個人・団体からの寄附金を積み立てました。



(担当部署: 政策企画課)

## 西清掃センター解体

決算額: 841,576千円

資源化センター竣工後、稼働停止となった西清掃センターについて、平成28年度に着手した施設の解体工事が完了しました。



工事前



工事後

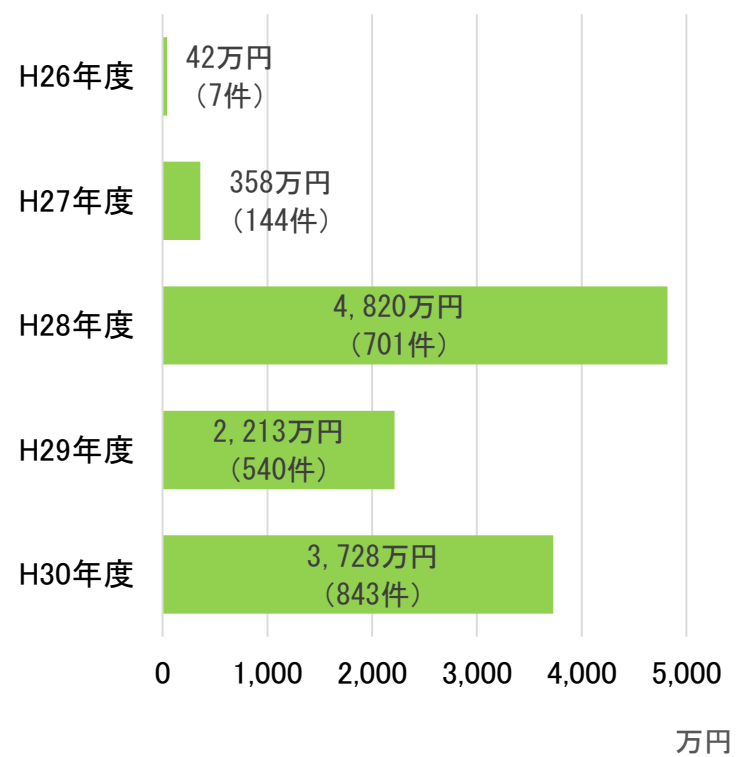
(担当部署: 環境施設課)



# (参考) ふるさと納税の状況

平成30年度は、843件、3,728万4千円の寄附金をいただきました。これらの寄附金は、本市の魅力あふれるまちづくりに活用させていただきました。

寄附金の推移(個人)



目的		件数	寄附金額
分野	子ども・子育てに関する事	155	4,440千円
	福祉・保健・医療に関する事	80	1,955千円
	教育・文化・スポーツに関する事	30	5,620千円
	都市基盤・生活基盤に関する事	21	696千円
	産業・観光に関する事	33	852千円
	環境に関する事	28	730千円
	地域社会・市民生活に関する事	9	220千円
	住民自治・行財政運営に関する事	5	120千円
基金	みんなで支える観光基金	205	5,090千円
	文化芸術スポーツ振興基金	20	480千円
	大学奨学金基金	33	10,740千円
	市制施行百周年記念事業基金	13	451千円
事業	川越まつり山車の修繕	68	1,465千円
	文化財保存事業補助金	29	615千円
	無形民俗文化財映像記録作成事業	3	60千円
一般寄附		111	3,750千円
合計		843	37,284千円